

令和5年度 第5回 北部公民館運営審議会
議事録

日	時	令和6年3月19日(火)
		午後3時02分～5時10分
会	場	北部公民館 講堂

午後 3 時 0 2 分開会

○朝隈委員長

ただいまより、令和 5 年度第 5 回北部公民館運営審議会を開催いたします。

事務局より諸事項の確認がありますので、お願いします。

○事務局（北部公民館長補佐）

まず、配付資料の確認をさせていただきます。事前にお送りした本日の北部公民館審議会の資料として、事業報告、「地域の状況・課題・重点目標」、事業計画がございます。それから、社会教育関係団体登録申請書一覧で、今回は新規と拠点変更です。あとは各館の館報でございます。そのほか、本日机に置かせていただきました資料として、座席表、冊子「船橋の社会教育」、教育情報誌「まなびの風」でございます。

加えまして、北部公民館の追加資料と二和公民館のゼンタングルの資料も併せてお配りしています。不足資料等はありませんでしょうか。

続きまして、本日の会議の開催要件について申し上げます。本日、八木委員から欠席の旨、ご連絡をいただいております。本日の審議会は、委員 10 名中、9 名の出席をいただいておりますので、船橋市公民館条例施行規則第 15 条第 3 項の規定によりまして、半数以上の出席がございますので、この会議は成立といたします。

会議の公開につきましては、船橋市情報公開条例第 26 条及び船橋市附属機関等の会議の公開実施要綱の規定により、当審議会も原則公開になります。議事録作成のため会議の内容を録音させていただきますので、あらかじめご了承ください。議事録につきましても、後日、船橋市のホームページで公開となります。

また、本日の議事（4）につきましては、船橋市情報公開条例第 7 条第 1 項第 2 号に基づく不開示情報（個人に関する情報）を審議することから、同条例第 26 条第 2 号に該当するため、非公開となります。議事（4）の資料につきましては、会議後に回収させていただきますので、机のほうに置いてお帰りいただきたいと思います。後ほど事務局のほうで回収させていただきます。よろしく願いいたします。

それでは、議事に入ります。議事進行は船橋市公民館条例施行規則第 15 条第 2 項の規定により、委員長が議長となります。

それでは、朝隈委員長、議事進行をお願いいたします。

○朝隈委員長

それでは、議事に入ります。本日の議事はお手元にある資料のとおりです。本日の傍聴の申し出はございません。

それでは、議事（1）についてですが、事業報告については事業内容を事業計画のときに既に説明しているため、結果について報告を要するものに絞るようお願いいたします。

では、議事（１）事業報告（12月26日～3月31日）について、北部公民館より順次ご説明をお願いいたします。なお、ご意見、質問等につきましては、8公民館の説明終了後に受けたいと思いますので、よろしくをお願いいたします。

では、北部公民館、よろしく申し上げます。

○北部公民館長

北部公民館の12月26日から3月31日までの事業報告につきまして、ご説明いたします。

まず、報告1「クラブ活動支援事業（ウクレレ）」でございます。こちらは事業内容としまして、世代を超えた地域交流活動としまして、北部公民館の社会教育関係団体と豊富小学校の児童の交流事業となります。2か月に1回という形で期間は短い形にはなりますが、ウクレレの演奏とか体験をしていただきまして、子供たちは演奏ができたことを非常に満足して喜んで毎回帰っていただいたので、こちらの事業はおおむね達成できたものと考えております。

続きまして、次ページ、「お話玉手箱」です。こちらは、近隣の豊富高校と小学校との交流事業になります。参加人数については、冬場の事業ということで少ない人数ではありましたが、その分、高校生と参加した小学生との交流が密に図られまして、双方満足のいく事業という形になりました。高校生からも、また事業を実施したいという肯定的な声もいただいております。

続きまして、報告5「みんなでポッチャ体験」です。ポッチャは、子供から高齢者、障害者まで誰でも楽しめるパラスポーツとなります。北部公民館では、スポーツ推進委員の協力のもと昨年からは3回程度実施をしまして、比較的多くの参加者があり定着した事業となっていることから、次年度以降も共生社会の実現のため継続して実施をしております。

続きまして、その下でございます「とよとみジョイフルコンサート」になります。今回は11弦ギター演奏者の明石現さんによります演奏のほか、明石先生のゼミ学生であります千葉明德短期大学の学生による手話を交えた合唱の構成となりまして、参加者からは高い評価を得ることができました。また、コンサート終了後、アンケートを実施しまして、その中で、豊富地区ではコンサートに触れ合う機会が少ないことから、コンサートを実施してほしいという声が多く寄せられまして、次年度以降も年間数回実施していきたいと考えております。

続きまして、報告6「サークル活動展示」、次ページの「サークル紹介 CM 館内放送」になります。こちらは両方ともサークル活動の支援を目的とした事業となっております。実際に放送とか作品を展示したところ、サークル以外の利用者、北部で言いますと出張所を利用されている方、こちらについても興味を示していただきまして、サークル活動の支援の一助となりましたので、また次年度以降も実施していきたいと考えております。

最後になります。その下にあります「北部地区公民館8館合同事業」になります。こちらは、テレビで活躍しておりますお城博士こと栗原響大さんによる事業となりまして、当日は二和公民館において220名の参加がありました。北部地区の合同事業であることから、担当

する職員も多く割り当てることができたことから、大きな事故もなく無事に事業を実施することができました。

次年度以降も、このような形で実施する場合には、会場となる館と事前に密な打ち合わせをしまして、事業がスムーズにいくように考えてまいります。また、担当者の役割についても明確にしまして、参加人数の多い事業でもあることから事故が一番怖いので、事故が起きないことを第一に事業を実施していきたいと考えております。

簡単ではございますが、北部公民館からは以上となります。

○朝隈委員長

ありがとうございました。

次に、二和公民館さん、お願いします。

○二和公民館長

二和公民館の12月26日から3月31日までの主な事業について報告いたします。

初めに、青少年対象の「ハッピーサタデー事業」を記載のとおり開催しました。なお、最後の「影絵・朗読・お話」は、3月23日の開催となりますので、参加者数は事業終了後、事務局へ報告いたします。

次に、成人対象の三咲小及び二和小のPTAとの共催による「家庭教育セミナー」を、2ページにまたがりませんが、記載のとおり開催いたしました。

次に、SDGsに繋ぐ講座を2種目に分けて開催しました。2月2日及び15日の食に関する講座では、おいしく野菜を食べ尽くすための実用講座を企画し、参加者からは、「ふだん捨ててしまう部位の有効利用など食材の使い方」のヒントとアイデアが得られた」と、好評価をいただきました。次の環境に関する講座では、SDGsの基礎知識から気温変動について、映像やクイズ、簡単な実験などを通し、楽しみながら学ぶ機会を提供できました。

次のページに移りまして、「防災講座」です。今年度は二和地区の震災の想定や在宅避難をテーマに実施しました。1月に発生した能登半島地震の影響もあり、10代から40代の参加者も多く見受けられました。

次の「そば打ち体験」の参加者数になります。9時半からの部及び12時半からの部、共に男5名、女1名、計6名となりましたので、お手数ですがご記入をお願いいたします。

次に、高齢者対象事業になります。「二和寿大学」を記載のとおり開催しました。なお、最後の閉校式と落語は3月21日に開催いたします。

次のページとなります。「ふなばしシルバーリハビリ体操教室」です。月曜コースの3月11日分の参加者数は、男11名、女54名、計65名となります。次の火曜コースですが、最終回は3月26日に実施いたします。

次の「介護予防教室」ですが、今年度は昭和歌謡に合わせて振付をする運動が大盛況で、参加者からは好評を博しました。

次のページに移りまして、「二和地区社会福祉活動支援事業」、3月18日分のミニデイの参

加者数になります。男 0、女 31 名、計 31 名となりましたので、お手数ですがご記入をお願いします。

次に、複数対象です。「巡回児童ホーム事業」のぼかぼか広場、3 月 13 日分の参加者数は男 7 名、女 22 名、計 29 名となりましたので、お手数ですがご記入をお願いします。

次のページになります。「子育て支援事業 にこにこ広場」は 3 月 22 日が最終回となります。

次の「第 15 回北部市民ウォーク」ですが、今年度は三咲駅をスタートし、八木が谷から高野台を回るコースを組み、北部の自然と歴史に触れながらゴールの二和公民館を目指し、参加者 24 名が 2 時間半を完歩しました。

次に、「二和劇場」になります。2 月 17 日に開催を予定していた地域ふれあいコンサートですが、著名な昭和歌謡グループを招いたことで、チケットの発売日の午前中に全 349 席が完売となる盛況ぶりでしたが、公演の前々日にメンバー 2 名が体調不良のため出演が不可能となり、その後の公演演者との調整で、中止ではなく延期といたしました。

最後のページになります「二和たのしい歌のつどい」は、2 月 3 日の公演をもって今年度の事業全 6 回が終了しました。

二和公民館からは以上です。

○朝隈委員長

ありがとうございました。

次に、海老が作公民館さん、お願いします。

○海老が作公民館長

海老が作公民館の事業報告についてご説明いたします。

まず、青少年事業でございますが、「ふなばしハッピーサタデー事業」として、2 月 25 日にえびがさくこどもまつりを開催いたしました。当日は昼前から小雨が降っておりまして、あいにくの天気ではございましたが、多くの参加者に参加をいただいております。内容は、公民館利用青少年関係団体の発表、例えば空手と楽器演奏、それとダンスというもの、それから公民館利用陶芸サークルのご協力による小皿への絵付け、また人形劇サークルによる公演、それから、「ギネスに挑戦」と題しまして、輪投げと新聞ちぎり、新聞をちぎってどのくらいまで延びるかというもの、それから目隠し一本足でどのくらい立っていただけるかというもの、また空き缶積みなどを行いました。ほかにもアイスマグネットづくり、それから紙鉄砲、折り紙、ペンシルバルーン、スーパーボールすくい、コリントなども楽しんでおりました。また、お昼をまたぐ事業でございましたことから、模擬店も出していただきました。焼きそばやじゃがバター、お餅なども青少年関係団体のご協力によって出店をしております。

次に、成人事業でございます。「デジタルデバイド対策事業」の人数のご記入をお願いいたします。参加人数が 8、男 3、女 5 でございます。基礎編としてラインの使い方、またラインを使う場合の注意点などの説明を入れて講義をしております。

次に、「異文化交流体験講座」でございます。今回は台湾の文化に触れましょうということで行っておりますが、台湾の料理の中のさつまいも団子、日本で言うと甘い小豆を混ぜたようなものと緑糖を使った地瓜芋圓（ティー・コワ）というお汁粉のようなものをつくりまして、これを参加者の皆さんで食べながら講師のお話を聞くというスタイルをとりました。とても和んだ雰囲気の中で台湾文化について聞くことができたと思っております。

次に、ページが変わりまして「えびがさくサークル一日体験講座」でございます。参加者が事業終了後に各サークルに加入するなど、一定の成果を上げることができております。今後もサークルの活発化などを狙ってつなげていければと思っております。

ページ変わりました、「いきいきサロン『花梨』」の2月5日分でございますが、これは前日から当日にかけて大雪が降った日でございますので、中止となっております。

次に、複数対象事業でございますが、「ファミリー卓球」の3月17日分の人数のご記載をお願いいたします。全部で21名、男10名、女11名でございます。

ページが変わりまして、一番下、「卓球団体交流会」でございますが、これは公民館を利用している婦人卓球サークルが交流会をしましょうということでの交流戦でございます。当初、多くの参加者を予定しておりましたが、インフルエンザの流行に伴いまして、実際には約30名の参加人数での開催となりました。けがもなく一日を終えることができましたので、こちらとしてはとても安心した事業となりました。

以上、簡単ではございますが、海老が作公民館の事業のご説明でございます。

○朝隈委員長

ありがとうございました。

次に、小室公民館さん、お願いします。

○小室公民館長

小室公民館の12月26日から3月31日までの主な事業について報告いたします。

まず、青少年対象として、「ふなばしハッピーサタデー事業」をご覧のとおり開催しました。最終回の3月16日の巣立ちの会については、小室地区の特徴でもありますが、青少年健全育成連絡協議会のご尽力により開催した、主に小学校を卒業する児童のため、その門出を祝うお楽しみ会といった内容でした。当日は盛況だったとのことで、地域の皆様に卒業や進級を祝っていただき大変ありがたいことだと思います。参加人数のご記入をお願いします。400名でした。

次に、成人対象として、「デジタルデバインド対策事業（はじめてのスマホ体験）」ですけれども、来年度も開催を希望する方がいるとのことで、繰り返しスマホの操作をすることで着実に操作方法を身につけられればよいと思います。

その次のページに行きまして、「メルカリ教室」についても、出品まで体験でき、とてもよかったという感想をいただいたこともあり、来年度も開催したいと思います。

また、今年度から地区社会福祉協議会と共催で「料理サロン」を再開することができまし

たが、参加者は料理に比較的不慣れな男性ばかりではなく女性の参加も多く、和やかに楽しく料理を学べたとのことでした。

隣のページの高齢者対象事業に行きまして、「小室寿大学」は最終回がまだ終了していませんが、毎回安定した参加者を集め、月に一度公民館に足を運び、ほかの方と交流する機会を提供できたかと思えます。来年度も多彩な内容で喜ばれるよう開催したいと思います。

複数対象事業に行きまして、「小室地域ふれあいコンサート」ですが、申し込み開始後2日間で受付終了となり、当初より受付人数を増やしましたが、10名くらいはお断りするほど人気がありました。遠方まで出向かずに上質な音楽と出演者の楽しいトークに触れることができ、参加者のリクエストにも応じてくださったので大変充実した内容で、アンケートを見ても満足度の高いものでした。来年度もまた地域に喜ばれるような内容で開催したいと思います。

最後になりますが、小室児童ホームと共催で「親子ピラティス教室」「人形劇観賞会」を開催しました。児童ホームと共催することにより親子の参加を促し、公民館への親近感を持ってもらうためには有意義な機会でした。

小室公民館の報告については以上でございます。

○朝隈委員長

ありがとうございました。

次に、八木が谷公民館さん、お願いします。

○北部公民館長

八木が谷公民館の館長がお休みということなので、私が代わりに報告いたします。

まず最初に、青少年事業の「ふなばしハッピーサタデー事業」になります。2月のヒップホップダンスでは、少人数のため広々とダンスを行うことができ、ダンス習得に時間がかかったが、もっと踊りたいという要望が出たほどでした。3月には地震体験を行い、小学生は震度4まで、大人は震度7まで体験をしました。震度7になると、体験している方、見ている方ともに表情が変わりまして、貴重な体験ができたということで、改めて家族で考える機会ができたとの声があったということです。

続きまして、報告2、成人対象の「大人の趣味時間」でございます。この講座は、新たな趣味を見つける手助けをするとともに会員増員等を目指すものでございます。今年度は6月の前期と1月の後期に分けて実施をしました。事業実施後の入会は2名と少ないものの、多少の成果はあったものと考えております。

続きまして、報告4です。高齢者対象の健康づくり課共催の「ふなばしシルバーリハビリ体操教室」でございます。こちら人数のご記入をお願いいたします。3月13日分になります。合計で50名、男13名、女37名となります。

続きまして、ページが飛びます。報告6の「子育てサロン」でございます。人数の記載をお願いいたします。3月18日、合計で21名、男が6名、女が15名でございます。この事業は地区社協と共催で実施をしております。地域の子育てボランティアの協力を得て、季節

料理の伝統行事を取り入れながら多くの参加者を得ることができました。仲間づくりや親子の触れ合い、育児の悩み事相談など、子育て中の母親のサポート役を果たしていると思っております。

八木が谷公民館の報告は以上となります。

○朝隈委員長

ありがとうございます。

次に、三咲公民館さん、お願いします。

○三咲公民館長

三咲公民館の令和5年12月26日から令和6年3月31日までの事業報告をいたします。

青少年対象事業の「ふなばしハッピーサタデー事業」は、記載のとおり実施し、2月11日のこどもまつりでは、コロナ禍前の令和元年度まで実施していたように、各種団体の協力を得まして様々な体験コーナー、模擬店などを出店する内容で実施しました。

次に、成人対象事業です。「新春！参道狛犬ものがたり～お参りがもっと楽しくなる狛犬講座～」は、座学と散策の内容で2週にわたり生涯学習コーディネーターの方の協力を得て実施しました。

2ページをお願いいたします。「デジタルデバインド対策講座」、「バレンタインデーのクッキー缶作り講座」を記載のとおり実施しました。

「自然観察ウォーク」では、千葉ニュータウン中央駅周辺約7キロの行程で散策を実施し、参加者は19名、男6名、女13名でした。

3ページをお願いいたします。異文化交流を図る目的で「国際交流講座」を実施し、年齢たがわず参加された多くの方が中国伝統芸能を楽しみ好評な講座となりました。参加人数は92名、男25名、女67名でした。

「防災講座 在宅避難、備えは大丈夫？」では、今後発生が予測される災害への備えとなる知識を学んでいただき、参加者は14名、男5名、女9名でした。

次に、高齢者対象事業です。「ふなばしシルバーリハビリ体操教室 第2金曜コース」及び4ページの「ふなばしシルバーリハビリ体操教室 第3金曜コース」は記載のとおり実施し、第2金曜コースの3月8日の開催は、41名、男10名、女31名、第3金曜コースの3月15日の開催は、参加者33名、男6名、女27名でした。当公民館で実施しているシルバーリハビリ体操教室は、今年になり参加者が増加の傾向になっております。

「三咲寿大学」は、1月に新春落語を、2月に尺八とギターのコンサートを、いずれも公開講座として実施しました。三咲寿大学は近年参加者が減少傾向にありますので、より多くの方に受講していただけるよう、講座内容、公開講座の回数などを検討していきたいと考えています。

次に、複数対象事業です。「助産師さんのベビーマッサージ」及び次ページの「英語であそぼう」を、三咲児童ホームとの共催で記載のとおり実施しました。

その下の「おもちゃの病院」、3月9日の参加人数は、5名、男2名、女3名でした。

また、「卓球開放」、「図書コーナー運営事業」は、記載のと通りの日程で実施し、残りの日程につきましても同様に実施していく予定です。

三咲公民館の事業報告は以上となります。

○朝隈委員長

ありがとうございました。

次に、松が丘公民館さん、お願いします。

○北部公民館長

松が丘公民館ですが、本日、急遽体調不良ということで館長がお休みになりまして、私のほうから空欄であります参加人数の報告をさせていただきます。よろしいでしょうか。

まず、報告1ページの「ふなばしハッピーサタデー事業」の3月16日になります。こちらは合計28名、男性12名、女性16名となります。

続きまして、ちょっとページが飛びますが、報告4、高齢者対象の「高齢者仲間づくり支援事業 ふれあいサロン」になります。3月14日分です。合計で22名、男性1名、女性21名となります。

続きまして、隣のページの報告5、「シルバー料理教室」3月19日の参加者数となります。合計で14名、内訳が男性14名、女性0となります。

次ページの報告6、複数対象事業の「子育て支援事業 おひさま」3月12日の参加人数になります。合計5名、内訳として男性2名、女性3名となります。

評価等につきまして、もしご質問等があるようでしたら後日、または次年度の初回等にご報告できればと思います。

松が丘公民館は以上となります。

○朝隈委員長

ありがとうございました。

ご質問等があれば、松が丘公民館に直接電話してもいいんですよ。

○北部公民館長

はい、大丈夫です。

○朝隈委員長

ということですので、よろしく願いいたします。

それでは、次に、坪井公民館さん、お願いします。

○坪井公民館長

坪井公民館でございます。主な事業を中心にご説明させていただきます。

まず、青少年事業の「ふなばしハッピーサタデー事業」でございますけれども、3月2日をもって全日程を終了いたしました。一年を通じまして坪井地区社会福祉協議会、坪井地区スポーツ推進委員会、伝えよう船橋の会などの地域団体のご協力をいただきながら、子供た

ちに寄り添う内容で実施できたと感じております。

続きまして、「科学って楽しいな」ですけれども、ふだんはなかなか訪れる機会がない日本大学内のミュージアムを訪問して、展示品の解説を聞きながら見学し、続くワークショップでは親子で楽しみながら学習し、学びとともに親睦を深めることができたと考えております。

続きまして、次ページ、成人事業の「楽しく賢く！教養アップ講座」でございますが、多文化共生をテーマに実施いたしました。1回目は船橋市の国際交流施策につきまして、国際交流課の職員を講師として招き、説明をしてもらいました。2回目は各国の織物の文化についての講義に続き、タペストリー作りに挑戦いたしました。終了後のアンケートも好評で、今後も多文化共生をテーマとした講座を企画してまいりたいと考えております。

続く「地域防犯講座」でございますが、特殊詐欺をはじめ強盗・窃盗など高齢者を狙った卑劣な犯罪が後を絶たない状況を踏まえ、船橋東警察署生活安全課のご協力をいただき、実施させていただきました。

続きまして、「坪井の歴史講座」でございますが、毎回参加を心待ちにしている方がいる人気講座でございます。まず17日に坪井地区にまつわる歴史について座学で学びました。参加者人数のご記入をお願い申し上げます。男8、女7、計15名でございます。第2回目は22日に散策を実施する予定です。

次の高齢者事業、「坪井みのり学級」、3月8日（金）の参加者人数のご記入をお願い申し上げます。男3名、女30名、計33名でございます。ハープ奏者の本間美貴子さんをお招きいたしまして、コンサートを実施いたしました。

続く「ふなばしシルバリーハビリ体操教室」でございますが、3月26日に最終回を実施し、全12回の日程を終了する予定でございます。

続きまして次ページ、「地域ふれあいコンサート」でございますが、沖縄在住のYuMeさんと歌手のNAOMIさんを招き、沖縄の春風コンサートを実施いたしました。沖縄の春の訪れをイメージした楽曲を中心にピアノの弾き語りを実施いたしました。爽やかな歌声が風に乗って届いてくるような、すてきなコンサートだったと感じております。

次の「おはなしいろえんぴつ」と「おもちゃの病院」は、ご覧のとおりでございます。おもちゃの病院につきましては、3月23日を最後に今年度の回を終了する予定でございます。

最後に次ページ、児童ホームとの共催事業の「子育て支援事業『おひるねアート』」の参加者数のご記入をお願い申し上げます。児童ホームのほうで大人と子供の区分分けはしているのですが、男女別の受付集計をしていないということでございまして、恐縮ですが総数のみのご記入をお願いいたします。10時30分の部が合計12名、11時10分の部が合計4名でございます。

坪井公民館の事業報告は以上でございます。

○朝隈委員長

ありがとうございました。

それでは、議事（1）につきまして、ご意見、ご質問等何かございますでしょうか。もしございましたら公民館名とページ数でお願いいたします。

金子さん。

○金子委員

海老が作公民館さんですが、ハッピーサタデーでこどもまつりをやられて、1,427名という結構な人数になるのですが、午前中の2時間で運営したということで、多分講堂を中心に活動したと思うのですが、この2時間で1,400何名というかなり多い人数で、かなり混雑したというか、そういう点では無理がなかったのでしょうか。

○海老が作公民館長

まず1点が、混雑という意味では、ある程度の人間は参加いただいて、とても盛況だったというのが1つありますが、この1,400の数字の出し方なのですが、公民館の利用人数の出し方として、1人が2部屋使うと2人のカウントをしてしまいます。例えば講堂と第1集会室のほうに参加があると、1人でも2人のカウントをしているという数え方をしています。社会教育課のほうに施設の利用人数の報告をしているのですが、それと同じカウントの仕方をしているので、実際にいらっしゃった人数はおそらく200ちょっとくらいかなというふうに思っています。なので、数字については申し訳ございません。

○金子委員

分かりました。同じ質問を三咲公民館にもしたいのですけれども、午前10時から4時間で、4千何名でしたか、かなりの人数に。

○三咲公民館長

3,380名です。

○金子委員

3千何名ですね。同じく延べ人数でやられたと思うのですが、子供たちがかなり混雑してきて、安全とかそういう面では問題はなかったですか。

○三咲公民館長

安全面では、ここの開催の時間が10時から午後の2時になっているのですけれども、開催の時間をセクションごとに若干ずらしていった関係で、混雑はしていましたが、防犯上と申しますか、危険なことではなかったです。

○金子委員

分かりました。

○朝隈委員長

これは、さっきおっしゃったように、同じ子を、講堂に行って、次にまた第1集会室に行ったら1人と数えるんですものね。だから、実際の子供たちは何人かというのは分からないですよ。あの子があっちに行ったから、これは1回というわけにはいかないわけでしょう。そこで数えて、また次の第1集会室で数えて、音楽室に行ったらまたそこで数えて、3名に

なっちゃうわけですね。

○三咲公民館長

そうですね。例えば6つコーナーがありまして、1人の子が6つ回ると6人というカウントになります。

○朝隈委員長

そういう数え方だというのは分かりました。

○金子委員

そういうのが分かっただけじゃ問題はないので。

○朝隈委員長

そうなんですよ。

ほかにごありますか。

○坪井公民館長

一点よろしいでしょうか、坪井公民館でございます。

○朝隈委員長

はい。坪井公民館長。

○坪井公民館長

坪井公民館の事業報告でございますが、1ページ目のハッピーサタデーの3月2日、こどもまつりですけれども、これは延べ人数で書かなければいけないところを実人数で書いてしまいまして、申し訳ございません。

○金子委員

なんか少ないなと思った。

○坪井公民館長

申し訳ございません。

○朝隈委員長

これ延べでやると、ものすごい数字になるわけでしょう。

○坪井公民館長

そうでもないですけれども、延べで296人、男が120人、女が176人でございます。

○朝隈委員長

坪井さんは、すごく人数の多いところじゃなかったですか。

○坪井公民館長

子どもは多いのですけれども、インフルエンザとかがかなり流行ったときで。

○朝隈委員長

まだまだいてもよさそうな地域ですよ。

○坪井公民館長

そうですね。

○朝隈委員長

分かりました。

ほかに意見とか質問ございませんか。

ないようであれば、議事（１）につきまして、承認するものとしてよろしいでしょうか。

（「異議なし」の声あり）

○朝隈委員長

では、異議ありませんので、議事（１）事業報告（12月26日～3月31日）につきまして、承認いたします。

それでは、議事（２）に移ります。

北部公民館さんからお願いいたします。

○北部公民館長

北部公民館の令和6年度の「地域の状況」から「重点目標」について説明をいたします。よろしいでしょうか。

まず、地域の状況の説明からいたします。豊富地区は、旧豊富村内にある農業を中心とした自然豊かな地域でございます。近くにはアンデルセン公園、青少年キャンプ場などがあります。市民の憩いの場となっております。

公共交通機関が不便な地域であることから、流入人口が少なく少子高齢化が進んでおり、令和5年10月1日現在の高齢者率が37.04%、市内全体の23.93%と比較すると13.11ポイント高くなっております。逆に、管内の小中学校はクラスが1クラスずつになり、学校も1校ずつになります。15歳未満の人口は405人となりまして、人口比率は7.1%となります。市内全体の12.44%と比較して5.27ポイント低く、公民館別では最下位となっております。

地域の課題としましては、人口減少によるものが大きな要因となります。先ほどの人口比率でお話ししたとおり児童数が少ないことから、青少年向け事業を増やすことが難しいと考えられます。また、65歳以上の心配事として、高齢者の孤立、地域活動における後継者不足の意見が多くございます。こちらについてはコロナ禍での外出機会の減少、それに伴うサークル活動の停滞、会員の減少の要因とも考えられます。また、高齢者が多い地域であることからインターネットに関する学習を望む声が少なく、デジタルデバインド対策が必要となります。

重点目標につきましては、（１）では、連合町会、地区社協並びに近隣の学校から地域交流を望む声も寄せられていることから、地域団体と連携協力し、特色のある公民館事業の実施を考えております。

（２）ですけれども、高齢者の社会参加と健康維持の増進については、公運審の委員の皆様からフレイル予防として積極的に事業を実施してほしいという声もいただいておりますので、次年度におきましても、軽運動、交流機会の創出を図ってまいります。

（３）地域の方に楽しんでもらえる事業や地域の特色を生かした事業を実施いたします。

参加していただく手段として、広報、館報によるPR活動の充実に努めます。また、地域の活性化の一助として、サークル活動の支援を行ってまいります。

(4) デジタルデバイド対策事業の拡充につきましては、今現在、生活する上で欠かせないものとしてスマートフォンがございます。使用方法などについてフォーカスした事業を次年度も実施してまいります。

それぞれの重点事業に即した具体例については、事業計画で後ほど説明をしてまいります。北部公民館からは以上になります。

○朝隈委員長

計画(案)については。

○北部公民館長

では、続けてご説明いたします。令和6年度の北部公民館の事業計画を本日机の上に置かせていただいておりますので、こちらのほうを参照していただければと思います。

まず、こちらの見方ですけれども、番号に丸を振ってある事業が来年度の新規事業という形になります。上から順に説明してまいります。

2番「クラブ活動支援事業」については、先ほどの事業報告でも説明しましたけれども、豊富小学校との連携事業という形になりまして、重点目標(1)の該当事業となります。

また、6番「小・中・高・特別支援学校との連携」につきましては、文化祭での参加協力、中・高生には事業ボランティアの協力を考えております。

7番、こちら新規事業の「子どもまつり」になります。北部公民館では初めての試みとなります。今年度までは公民館での縁日的な事業を実施しておりましたけれども、もう少し規模を拡大しまして、これからの交渉になりますけれども、小学校とか特別支援学校の方にも何か発表等ができればと公民館の方で考えております。子供たちの楽しむ事業になりますので、こちらを新規で考えております。また、中・高生にはボランティアとして協力できればということも併せて考えております。

続きまして、9番「デジタル一眼レフカメラ講座」になります。こちらは例年アンデルセン公園内で撮影を行うことから、重点目標の(3)に挙げました地域の特色を活かした事業として計画しております。

続きまして、12番、13番「相続を考えるシリーズ」になります。こちらは北部公民館で人気の事業となりまして、リカレント教育を意識した入り口的な講座として位置づけをしております。こちらの事業で即座に資格を取得するとか仕事に活かせるということとはできませんけれども、より専門的に学ぶためのきっかけになればと考えております。

今、リカレント教育という言葉を出しましたので、リカレント教育について簡単に口頭で説明いたします。こちらについては学びを通して資格の取得とかキャリアアップにつながることを一般的には言います。公民館の事業で例えるとしましたら、松が丘で実施しておりましたファミリーサポートの有償ボランティアの登録に関する事業とか、八木が谷公民館で実

施しておりました植木の剪定作業から、例えば生きがい福祉事業団に登録をして、それを活かして剪定作業をすることで報酬を得るということもできます。そういったことが公民館で考えられるリカレント教育になるのかなと思います。

続きまして、21番から23番です。ちょっとページがひっくり返りますけれども、こちらは「デジタルデバйд対策事業」としまして、内容のほうですけれども、使い方というのは皆様もう何度か実施しているのでかなり扱える方も増えてきているのかと思いますので、実際にアプリの使い方としてLINEとかネットショッピング、会議等で使うZoom、こちらの使用方法について実施する予定となっております。

26、28、29番におきましては、高齢者の健康寿命を延ばす事業としまして「料理サロン」「介護予防教室」「ふなばしシルバーリハビリ体操教室」を実施したいと考えております。

36番になります。豊富地区連合町会との共催事業となりまして、今年度好評だったウォークラリーを来年度もアンデルセン公園を利用して考えております。重点目標としましては、(1)の共催事業と(3)に挙げました地域の特色を活かした事業という形になります。

32番の「サークル活動見学・体験」、42番の「北部公民館サークル活動展示」につきましては、地域のサークル活動の支援を行うことで、重点目標(3)に挙げました地域の活性を図っていくという事業となっております。

北部公民館からは以上となります。

○朝隈委員長

ありがとうございました。

次に、二和公民館さん、お願いします。

○二和公民館長

それでは、二和地区の地域の状況・課題・重点目標の案をご覧ください。

1の地域の状況です。二和公民館は新京成線二和向台駅前に位置し、駅周辺を中心におおむね住宅化されていますが、地区内には農地も点在しています。北図書館・二和出張所との複合施設となっており、管区内には小学校が二和小、三咲小と2校、高等学校が船橋二和高校の1校があり、二和東と西の令和5年10月1日付現在の世帯数は7,488世帯、人口は1万6,907人で65歳以上の人口比率は25.5%であり、市の平均である24%を上回っております。

2、地域の課題としましては、利用団体の高齢化や固定化の進行で社会教育関係団体が減少傾向にあります。これにより地域の人々との交流が疎遠になる、また、地域コミュニティの弱体化にも関連することから、公民館が人と人をつなぐ役割として既存団体の支援や新規団体の育成を図る必要性があります。また、高齢者に対し、ひきこもりや孤立の防止対策、生きがい・健康づくりに関する学習支援、そして、災害時等の情報収集に係るデジタルデバйд対策としてインターネットやパソコンといった情報通信機器によるコミュニケーションを図る生活サポートも必要であると考えます。

さらに、災害時における地域コミュニティ活動の重要性が指摘される中、核家族世帯の増

加をはじめ、働き方の変化やライフスタイルの多様化などに伴い、ご近所付き合いなど従来の地縁的なコミュニティの希薄化が懸念されます。

最後は3の重点目標です。先述しました2の地域の課題を踏まえて（1）から（3）の目標を挙げております。また、次のページの（4）につきましては、小ホールの機能を特徴とする講堂の活用について記載をいたしました。

具体的な内容につきましては、この後の事業計画で説明いたします。

地域の状況、課題、重点目標につきましては、簡単ではございますが、説明は以上となります。

引き続きまして、次のページの令和6年度二和公民館の事業計画になります。

令和6年度二和公民館の重点目標は、今ご説明した地域の課題に沿った3点と、二和公民館の特徴である小ホールの機能の利用に関する目標1点の合計4点でございます。この事業計画（案）は、これらを踏まえてご説明いたします。

重点目標の1点目は、社会教育関係団体が減少しているため既存団体の支援につなげるため、昨年度に引き続き、社会教育関係団体の二和そばの会を講師に招いた事業を計画しました。計画シートの38番目、「親子でそば打ち体験」となりますが、6年度は新規事業といたしまして20番の「年越しそば作り」も計画しました。さらに、活動の成果を発表する機会として、文化祭以外にサークル体験や見学会の開催といった41番の「サークル活動支援事業」を計画しています。また、新規サークルの結成につながればということで、15番の「重陽気功体験教室」と新規事業の7番「ゼンタングル講座」を計画しました。ゼンタングルにつきましては、昨年度に海老が作公民館で「ストレスとうまく付き合うための講座」で既出しておりますが、ご参考までに本日は開会前に別紙によるイメージをつくりましたので、配付させていただきます。

2点目は、高齢化率が高い地域における引きこもりや孤立防止、さらには健康づくりにつなげるための事業として、23番から28番となります。「ふなばしシルバーリハビリ体操教室」は、引き続き月2回の計画としました。27番の「ストレスの上手な付き合い方『高齢者のうつ病予防』」は、北部保健センターとの共催による新規事業です。こちらは市が策定する第10次高齢者保健福祉計画及び第9期介護保険事業計画の中の高齢者基本調査及びひとり暮らし高齢者のみ世帯調査におきまして、二和地区ではうつリスクが高くなっているとの結果が出ていることから、北部保健センターとの話し合いにより、不安や緊張を取り除いて心身の安定を図るためにリラクゼーションの方法を学ぶ高齢者のうつ病予防の講座を実施することとしました。

「デジタルデバインド対策事業」は22番になります。ソフトバンクを講師とした初心者向けの体験講座を予定しております。

13番の「はじめての足裏リフレ」と40番の「北部市民ウォーク」は、高齢者に限った事業ではないのですが、こちらにも参加いただいて、人生100年時代を末永く生き生きと暮ら

すため、健康づくりへの意識を高めてもらえればと思っております。なお、こちらの13番の「はじめての足裏リフレ」ですが、表中の右側の講師欄に訂正がございます。こちらは「リフレクソロジスト」になります。お詫びして訂正いたします。

続きまして、3点目の地域のコミュニティの場としての利用促進においては、7番の「ゼンタングル講習会」、11番の「ライフアップ講座B」、14番の「ライフアップ講座A」となります。目標の1点目にある新規サークル化の育成と併せて、コミュニティの場として活用いただければと考えます。19番の「防災講座」と21番の「二和のまちづくり推進事業」では、自治会や町会単位または二和地区自治会連合会と連携して有事に各家庭でできる備えや自治会等の備蓄品について確認する機会にしてもらえたらと考えます。

4点目は、音響・照明等の機能を有する講堂を活用し、主催事業の充実を図る事業として、34番の「二和劇場」になります。ボランティアの実行委員会との協働で地域ふれあいコンサートを含め5回実施する予定です。小ホールの利用による各種団体の発表会などにも円滑に開催できるようアドバイスしていきたいと考えます。また、31番の「二和名画座」は、社会教育課が所有する教材を活用した映画鑑賞会を新規事業として開催します。

二和公民館からの説明は以上となります。

○朝隈委員長

ありがとうございました。

次、に海老が作公民館さん、お願いします。

○海老が作公民館長

海老が作公民館の令和6年度地域の状況・課題・重点目標の案をご覧ください。

海老が作公民館のあります大穴地区は、昭和45年頃からの開発により多くの住民の方が流入してまいりました。従来からの農地と住宅地が混在している地域でございます。また、50年以上前に開発された地区ということもありまして、当時からの住民の方たちは80歳を超える方が多くいらっしゃいます。市内でも高齢化の進んでいる地域ということで、令和5年10月1日現在の65歳以上の方の割合ですが、37.72%、市全体の23.9%に比べると相当高い数字であることが分かります。ただ、地域としての特徴は、連携が非常に強いということがございます。連合町会等を中心とした町会自治会のつながり、それから大穴スポーツクラブ等の地域の皆さんの活動が盛んに行われているところもございます。

このような地域特性から、海老が作公民館の令和6年度の事業全体として、地域の皆さんの高齢化が進んでいるということも併せ考えたところ、大きく内容を変更することはせずに、今まで親しんでいただいている各事業を継続するというを中心としながらも、少しずつ変えていった事業にしていこうかということで事業を組んでおります。

それでは、事業計画の案をめぐっていただいて、次のページのところで事業自体の具体的なものをご説明させていただきます。

まず、新規事業からご説明をさせていただきます。重点目標で言うと(5)になりますが、

事業の6番「筆ペンの基本～見やすく整った文字を書こう～」という事業でございます。こちらは、昨年まで行っていた写経講座の講師との事業打ち合わせの際に、各世代、働く世代の40代、50代の方も筆ペン習字の学習をしたがっているというような情報をいただきました。これに合わせて今回土曜日ということで事業を組みまして、リカレント教育の一環としてこの事業をやっていこうということで新規で組んでおります。

また、その下の7番「再生しよう！住まいの補修DIY教室」というものでございます。こちらは、やはり6年度の事業打ち合わせをしている中で、当初子供向けの事業の打ち合わせをしていたのですが、講師のほうから私たちは大人向けのDIY講座もできるよというお話をいただきました。海老が作公民館では今まで大人向けのそういうDIY講座というものをやっていなかったものですから、これは多分地域の方たちが望んでいるものだろうなということで、事業化することを計画いたしました。内容も雨戸の修理とか障子の張り替え、私なんか自分でも多少やるようなことなのですが、多分皆さんなかなかできないという話があったものですから、この辺を取り入れていきたいと思っております。事業も年末の時期を狙って計画をしております。

次に、事業No.21「未来を描こう～中学生向け職業講話～」というものでございます。こちらは目標でいうと(4)に当たります。今まで行っていた職業講話でございますが、中学生向けに行った事業でございます。大穴中学校の協力によって行っていた事業でございますが、新型コロナウイルスの流行の影響でずっとやっていなかったものを、来年度復活させましょうということで中学校のほうとお話をいたしました。ただ、講話の方法、例えば集団で体育館に集めてみんなやるのか、個別にブースをつくってやるのかとか、または対象を2年生にするのか1年生にするのかというのが、学校のこれからの指導方針、カリキュラムによって若干変わってきますので、その辺については、これから4月以降体制が整った後のお話ということで事業を進めていくことになりました。

新規事業は以上でございます。

新規事業以外についてでございますが、大穴地域のひとり暮らしの老人の方たちからの市のアンケート結果の中で、「生きがいがない」とか「趣味がない」というような回答をいくつか目にいたしました。これは重点目標の(1)と(2)のところになりますが、この対策といたしまして、事業計画の8番「市民企画『学びの糸口～心楽暮(こらぼ)～』」という事業でございますが、4回の連続講座になっておりまして、製作、散策、座学、それからレクチャーコンサートというものを組み合わせた事業を行います。様々な内容を提供することによって、これから自分の生きがいや趣味を見つけてもらうことにつなげようと考えております。

また、その下の9番の「市民企画『元気が出る生涯学習講座』」、こちらでも2回の講座で、今度は歴史に特化した歴史講座として、1回目が座学、2回目が館外での散策ということで実施していきます。どちらも学び直し、趣味の発見につながってもらえればと考えております。

また、大穴地区社会福祉協議会との協力によりまして、事業計画の5番「いきいきサロン『花梨』」でございますが、こちらは公民館のロビー等を利用して、お茶を飲んでいってくださいね、昔の井戸端会議のようなものをしていってくださいね、というような事業になりますが、これによって地域のつながりを図っていこうということで取り組んでまいりたいと思っております。

次に、重点目標（2）の高齢者の関係でございますが、高齢者のデジタルデバインド対策として、事業計画の27番のところでございますが、従来の同一機種による講座から、今度は参加者がご自分のスマートフォンを使った講座というものを企画していこうと考えております。特に参加者の方から、「統一した機種でやっても、うちに帰ったら自分のが使えなかったよ」と時々ご相談がありますので、その辺も含めて講座を企画していきたいと思っております。

次に、重点目標の（3）に該当します社会教育関係団体の育成というところでございます。社会教育関係団体の減少に対して、事業計画の30番「サークル一日体験講座」を今年もやって、実際にサークルに何人が加入するということもありましたので、来年度も継続して実施してまいりたいと考えております。

次に、地域の住民のニーズ等を吸い上げるということで、重点目標の（5）の部分でございますが、地域住民のニーズを反映した事業を組んでいこうということで、4番の「海老が作寿大学」については、今までどおり生涯学習コーディネーターの方のご協力を得て企画、内容を立案していく。また、12番の「ふなばしハッピーサタデー事業」については、地域の青少年団体の方々のご協力を得て青少年実行委員をつくっての事業展開、また、23番の「七夕コンサート」、24番の「クリスマスコンサート」については、こちらも地域の方でつくるコンサート実行委員の企画立案を使った上での事業展開をしていこうと考えております。

今後も皆様のいろいろな要求等を吸い上げて事業展開をしてまいりたいと考えております。以上でございます。

○朝隈委員長

ありがとうございました。

次に、小室公民館さん、お願いします。

○小室公民館長

令和6年度の小室公民館の地域の状況・課題と重点目標について説明いたします。

地域の状況としては、千葉ニュータウンの一部に位置しているため、印西市や白井市との関わりもあり、サークルや講座の参加者としてその方面から来られる方もあるようです。

地域の課題として商業施設などが少ないことが挙げられており、昨年駅前にカフェができて人気を集めているようすけれども、友人と会話を楽しめるような場所がほとんどないというのが実情です。そのために公民館を数少ない居場所の一つとして期待してくださるのはありがたいことだと思ひまして、なるべく多くの方が関心を持って公民館に気軽に足を運んでもらえるような事業の企画を心がけております。

重点目標として、地域の課題を踏まえた（１）から（４）までの目標を立てました。それに基づきまして令和６年度の事業計画案を説明いたします。

シートの１３番目「公民館でガーデニング」は、継続している事業ですけれども、参加者が草花に触れながら公民館を楽しく交流する拠点として考えたときに、こうした講座は意義があるのではないかと考えます。

また、新規講座として１２番目の「古典文学講座」では、大河ドラマでも話題の紫式部と源氏物語について取り上げます。当館で古典文学に関する講座は近年実施していなかったため、人気を集めるのではないかと期待しております。

１４番の「スマホ写真テクニック講座」では、誰でも気軽にスマートフォンで撮影はすると思いますけれども、プロのフォトグラファーの方にコツを学ぶことで、より引き立つような写真を撮ることを目的に、生活を楽しむためにも、できれば若いお母さんやお父さんを中心に幅広い年代の方に参加していただきたいと思います。

１５番の「足裏リフレ講座」と２０番の「健康『吹き矢教室』」では、リフレッシュと健康の向上につながることを目的としています。その足裏リフレ講座で右端の講師の部分に訂正があります。正しくは「リフレクソロジスト」なので、申し訳ありませんが訂正をお願いします。

１６番目の「『資産形成』から『相続』までを学ぼう」では、人生１００年時代を見据え、今後の生活のためにも経済の最新情報を学ぶことにより、リカレント教育の要素もあるのではないかと考えております。

地域の課題と重点目標の（２）になりますけれども、小室地区は環境や都心へのアクセスの良さを求めて子育て世代が増加していることが特徴です。

１番目の「ふなばしハッピーサタデー事業」は、ほぼ毎月実施しておりますが、今年度も豊富地区スポーツ推進委員の皆様などの協力を得て実施する予定です。そうした事業で小学生の参加は多いのですが、今後は中学生にも来館してほしいということで、昨年、教頭先生にお願いして生徒会委員の生徒さんと対話する機会を設けていただきました。そのときのご意見などを反映して、２番目の「漫画の描き方教室」を実施することにしました。中学生はもちろん高校生の参加も期待しております。

次に、地域の課題の（３）、重点目標の（４）となる高齢者に関しても、今年度も寿大学では安定した参加者を集めることができました。来年度は中でも多文化共生を考えるためベトナム文化や、北総地域の歴史などを学ぶ内容を取り入れたいと思います。１７から２２番までは高齢者対象事業となっておりますが、高齢者の孤立解消のためにもそうした機会を提供し、喜んでいただけるような内容で実施していきたいと思っております。

また、１８番目の「料理サロン」ですが、６月～１月と表記しておりますが、既に実施する月が確定しているため、ご記入をお願いします。６月、９月、１１月、１月となります。また、サークルの活性化を図るため、２９番になりますが、年末に社会教育関係団体の活動体験や見

学会を開催する予定です。また、いくつかのサークルには、寿大学の中の1回で講師や出演者として発表の機会を設けて日頃の活動の成果を見せてもらい、サークルや参加者の募集につなげたいと思います。

6年度の事業計画の概要は以上となります。よろしくお願いたします。

○朝隈委員長

ありがとうございます。

次に、八木が谷公民館さん、お願いします。

○北部公民館長

八木が谷公民館の地域の状況・課題・重点目標について説明いたします。

地域の状況としましては、市の北西部に位置しておりまして、白井市や鎌ヶ谷市と隣接しております。もとは農村地区でしたが、昭和45年以降急激に人口が増加し、現在は古くからの集落の中心部を除いてほぼ全域が宅地化され、住宅が密集した地域となっております。

対象人口ですけれども、令和5年10月1日現在で高齢化率36.0%と市内でも高齢化率が高い地域でございます。また、公共交通不便地域解消事業により平成25年度から小型バスが運行し、令和元年10月より買い物困難地域を対象とした移動販売が開始されております。

地域の課題としましては、青少年の減少や、高齢化等の住んでいる方のことや、交通不便地域、買い物困難地域などが挙げられております。子供同士の交流や高齢者の健康づくり、デジタルデバйд対策による生活環境の向上、家庭教育などが課題として挙げられております。

その対策とする重点目標としましては、地域の課題を踏まえまして（1）から（6）の目標を掲げております。具体的な内容につきましては事業計画に沿って説明をします。

事業計画のほうをご覧ください。重点目標（1）から（6）を基に説明いたします。

重点目標（1）では、地域交流のほか、子供同士や世代間の交流が生まれるような機会を提供することとあります。計画としまして、番号2に記載されております「走るコツを学んで運動会で活躍しよう!」、3番「ドローン体験講座」、4番「みやさこ子どもまつり」、5番「手まり作り教室」等の事業を予定しております。

重点目標（2）では、高齢期を豊かに生きるために健康維持や増進のための学習機会の提供を推進することとなります。計画としまして、23番にあります「八木が谷寿大学」、24番、地区社協、在宅介護支援センターと共催で実施をする「健康セミナー」、25番、26番、「ふなばしシルバーリハビリ体操教室」、29番、健康づくり課との共催の「介護予防教室」等の実施を予定しております。

重点目標（3）は、交通機関が限られていることや買い物困難地域もあるなどから、ネットショッピングを含むデジタルデバйд対策を推進すると記載しております。計画としましては、12番から15番の「デジタルデバйд対策事業」、16番の「生活応援講座『体験してみませんか？ネットショッピング』」の実施を予定しております。

重点目標（４）、「家庭教育の認知」は約７割と高いが、「子供への家庭教育に自信がある」は約３割と高くないため、家庭への教育を推進と記載されております。計画としましては、８番「家庭教育セミナー」、９番から１１番「就学時健診等における子育て学習」の実施を予定しております。

重点目標（５）では、健康関連や趣味の幅が広がるような事業を実施していくと記載しております。計画ですけれども、１７番の「はじめての足裏リフレ」、１９番「アロマセラピー教室」、２０番「中国文化紹介講座」等の実施を予定しております。

重点目標（６）は、サークルの高齢化を防ぐため、新たな会員が入会できるような事業と記載しております。計画ですけれども、１８番「サークル体験・見学会」の実施を予定しております。

八木が谷公民館は以上となります。

○朝隈委員長

ありがとうございます。

次に、三咲公民館さん、お願いします。

○三咲公民館長

三咲公民館の地域の状況・地域の課題・重点目標について説明させていただきます。

まず、１、地域の状況ですが、三咲地区の人口は緩やかですが上昇傾向にあります。三咲公民館周辺の畑なども宅地になってきており、少しずつですが新しい家を建てて居住する比較的若い年代の方が増えてきているようです。

三咲地区の２０２８年（令和１０年）の推定高齢化率は約２５％となっており、他の北部地区の高齢化率と比べると比較的低い水準で維持できるという予測になっております。

２、地域の課題ですが、（１）として閉じこもり者、認知症リスク者、物忘れの多い者が多く、また３０分以上歩く者の割合が低く、運動する機会が減少している高齢者が多い。（２）として、今申し上げた状況が新型コロナウイルス感染症の影響を受けてますます進んでいる傾向が強い。（３）として、自治会・町会等地域団体の役員・メンバーの高齢化が進んでおり、地域活動における後継者が不足している。（４）として、社会教育関係団体の高齢化による団体数、会員の減少。（５）として、２０代から５０代の比較的若い世代の公民館利用者が少ない。（６）として、三咲地区に学校がないことから、近隣の学校との連携が必要である。（７）として、地震、台風等の災害に対し、地域住民の防災意識を高めるという、７つの課題を挙げさせていただきました。

次に、３の重点目標ですが、今申し上げた地域の課題を踏まえながら、記載されているとおり（１）から（７）の重点目標を掲げ、これに踏まえた事業計画を立案し、実施していきたいと考えております。

事業計画を説明させていただきます。三咲公民館の７つの重点目標を踏まえ立案しました事業計画について説明させていただきます。

重点目標（１）並びに重点目標（２）として、「高齢者の参加しやすい事業を企画実施し、高齢者が心豊かに過ごせる場の提供」を掲げ、これに対応する事業としてNo.25とNo.26になります。「ふなばしシルバーリハビリ体操」を今年度と同様に２講座実施していきます。No. 19の「三咲寿大学」、No. 20の「認知症予防講座」、新規事業としてNo. 21にあります「おひとり様の終活セミナー」を実施していく予定です。

重点目標の（３）として、「社会教育関係団体及び地域の町会・自治会等の組織や地域の団体活動の支援を行い、社会教育関係団体の育成に努める」を掲げ、この目標に対して公民館ができることが限られているのですが、これに対応する新規事業としてNo. 30とNo.31の「サークル応援講座」、32番目の「三咲公民館サークル活動自由見学ウィーク」を実施する予定です。

重点目標の（４）として、「現代的課題や地域の課題に取り組む事業、住民の学習ニーズに対応する事業、20代から50代の若い世代が興味を抱く講座などを実施し、成人向け事業の充実を図る」を掲げ、これに対応する事業としてNo. 6からNo. 18までの事業を実施していく予定です。その中で新たな事業としてNo.12にあります「自分の目標を見つけるコーチング講座」を企画し、定年退職した方、定年を意識し始めた方などを対象に、これからの人生で進むべき道を皆さんとの話し合いの中からご自身で見つけていただく、気づいていただくような講座を企画しております。

重点目標の（５）として、「併設している児童ホームと連携・協力して、子育て支援事業を実施し、地域の子育て世代が交流できる場を提供する」を掲げて、これに対応する事業としてNo. 27の「英語で遊ぼう」、No. 28の「助産師さんのベビーマッサージ」を実施していく予定です。

重点目標の（６）として、「近隣地域の学校・児童ホーム・地域団体と協力して、青少年が体験・学習できる事業を実施し、青少年の健全育成や居場所づくりに寄与する」を掲げ、これに対応する事業として「夏休み応援プロジェクト」という名前で3つの事業を計画しております。1番目の「読書感想文講座」、2番目は新規事業になりますが、「バリアフリーアクセサリ作り」、3番目の「こども環境教室」を実施していく予定です。

重点目標（７）として、元旦に令和6年能登半島地震が起きましたが、「今後、大きな災害が起こることを想定して、地域住民を対象に災害対策に関する事業を実施し、地域住民の防災意識を高め、災害に備えるための知識と対策方法を共有する」を掲げ、これに対応する事業として、No. 16の「地区防災講座」を地域の方々を対象に実施していく予定です。

その他の事業につきましては、今年度と同様に実施していきたいと考えております。

三咲公民館は以上です。

○朝隈委員長

ありがとうございました。

次に、松が丘公民館さん、お願いします。

○北部公民館長

松が丘公民館の地域の状況・課題・重点目標について説明いたします。

地域の状況ですが、昨年とあまり変わっていない状況だということになっています。松が丘は、宅地開発が昭和38年から50年ということで、その間に学校と児童ホーム等も建設されておりまして、人口が多く流入したということです。ただ、北部地区全体に言えることなのですが、それから流入人口が少なくなりまして、高齢化率が非常に高くなっているというのが現状でございます。

地域の課題としましては、(1)に書いてありますけれども、15歳未満の人口が人口比率としては低いのですが、松が丘地区では平成29年頃から微増ではありますが入ってきているということになっているそうです。これによって青少年事業等に特化した事業を考えていきたい。その他に関しては、ほかの公民館とも一緒なのですが、高齢者に対応した事業とかデジタルデバインド対策事業、あとは(5)に書いてあるのですが、令和元年度の生涯学習アンケート、他の地域と比較して高齢者の孤立に対する不安を持つ人の割合が高く、JAGESの結果としては閉じこもり者の割合が高い。

このJAGESの意味ですが、日本老年学的評価研究によりますと、高齢者の予防政策の基盤を科学的につくるプロジェクトということになっているそうです。全国39市町村で調査を実施したということで、平成28年の11月から12月に船橋で行った調査結果ということになっております。

こちらの課題に対応した目標というものを3番に(1)から(7)まで挙げてございます。具体的な事業内容のほうを重点目標の説明と併せて事業計画の一覧を見ていただいて説明をしてみたいです。

まず、重点目標の(1)ですが、「子供同士や地域の大人との交流を図る場や機会を提供できる事業を実施」ということになりまして、対応する事業が1番から6番となっております。

続きまして、重点目標の(2)ですけれども、「家庭教育に関する事業を実施して子育て世代を支援する」ということで、実施計画としましては7番から15番が対応する事業となっております。

続きまして、重点目標の(3)ですけれども、「地域のあらゆる人が、スポーツや文化活動に参加するきっかけをつかめるような魅力のある事業を計画し、持続可能な開発目標を意識した事業を実施する」となっております。こちらの対応する事業としましては16番から27番となっております。

続きまして、重点目標の(4)につきましては、デジタルデバインド対策関連の講座ということになりまして、対応する事業が28番から31番までとなっております。

続きまして、重点目標の(5)です。こちらに関しては高齢者に関する事業ということで、高齢者の孤立や閉じこもり防止に寄与する事業としまして、32番から38番が対応する事業となっております。

続きまして、重点目標の（6）、「地域における防災学習の充実や非常時の一人一人の心構え、また、公民館職員におきましては実践的な避難訓練を実施する」ということで、有事に備えるということになっております。対応する事業としましては39番となっております。

重点目標の最後、目標（7）です。「生涯学習施設として地域の核となるよう情報収集し、様々な方法で発信していくとともに、サークル活動の支援・育成に努める」ということになっております。対応する事業としては40から43番ということになります。

最後に、新規事業について何点かご説明いたします。ちょっと前に戻りますけれども、No.19の「そば打ち体験講座」です。令和5年度は親子で実施しておりましたが、令和6年度は成人対象として実施をし、サークルの活性化を狙います。

次のページに行きまして、事業No.37「ふなばしシルバーリハビリ体操教室」です。アンケート結果から回数を増やしてほしいという要望が多かったことから、スポーツ推進委員と話し合いを行いまして、健康づくり課共催事業とは別に年間4回実施を予定しております。今後回数を増やしていきたいと考えております。

松が丘公民館は以上となります。

○朝隈委員長

ありがとうございました。

次に、坪井公民館さん、お願いします。

○坪井公民館長

坪井公民館の令和6年度の地域の状況、地域の課題、重点目標をご説明させていただきます。

坪井公民館は市の北東部に位置してございまして、八千代市に隣接しております。昭和40年の宅地造成から人口が増加いたしまして、平成8年の東葉高速鉄道の開通、翌年からの土地区画整理事業によりまして人口が急増いたしました。公民館周辺には幼稚園・小中学校・大学がございまして、教育環境が整備されております。少子高齢化の中で、高齢者層よりも新たな住民を中心に子育て世代が多いため15歳未満の人口が比較的高い地域となっております。令和5年の4月1日現在で約21%となっております。

地域の課題につきましては、（1）として防災意識が高い住民が多いため、ニーズに合致した支援が必要と考えております。

（2）といたしまして、15歳未満の人口が比較的高いことから、子供たちの体験活動・居場所づくりが必要と考えております。

（3）といたしまして、新しい市街区には若い世代が多いですけれども、従前からの住宅地には高齢者が生活する地域も多いため、様々な年代や様々な生活環境に見合った学習機会の提供が必要と考えております。

（4）としては、ひきこもりがちになったり、コミュニケーション不足にならないよう、高齢者同士の交流と運動不足対策が必要と考えております。

(5)は、人口構成の中心を占める40～50代の住民を対象に子育ての支援や親子の絆を深めるような機会の提供が必要と考えております。

次に、重点目標につきましては、記載のとおり(1)から(5)の目標を掲げております。

続きまして、令和6年度坪井公民館事業計画のご説明をさせていただきたいと思っております。

初めに、重点目標に対する事業でございますけれども、重点目標(1)として、地域の防災について、体験型・実践型の防災学習を実施することとしています。実際の事業といたしましては、事業計画12番の「地域防災講座」を地域の町会などの皆様と連携を取りながら実施していく予定でございます。

次に、重点目標(2)といたしましては、地域の各種団体・機関と連携して子供たちに体験活動や学習の場を提供し、青少年の健全育成・居場所づくりに取り組むとしております。具体的には事業計画の1から4、裏ページの23や25番などの事業を地域の団体や大学と連携しながら実施する予定でございます。

続きまして、重点目標(3)といたしまして、様々な世代や環境の方々のニーズを的確に捉え、また、福祉や国際社会とのつながりなどを視野に入れながら魅力ある事業を展開し、地域の方が積極的に学習・文化・スポーツ活動に携われる場を提供することとしております。具体的には、様々な視点から事業計画の7番、8番、10番、13番などの事業を実施し、多岐にわたるニーズに対応してまいりたいと考えてございます。

続きまして、重点目標(4)につきましては、高齢者が家にひきこもりがちにならないよう、高齢者向けの事業を定期的に行い、生きがいつくり・仲間づくりを支援します。また、運動機能を維持するための講座を行います。具体的には、事業計画の17番から19番などの事業を実施し、生きがいつくりや運動機能の維持につなげてまいります。

次に、重点目標(5)につきましては、子育て世代を支援し、親子の絆を深めるために親子で一緒に参加できる事業などの充実を図ります。事業といたしましては、事業計画9番、11番、20番、22番などの講座を実施する予定でございます。

続きまして、個々の事業につきまして、新規事業を中心に事業計画シートに沿ってお話しさせていただきます。

まず、事業計画7番の「木育講座」でございますが、廃材を使った木工と森林保護など、自然を守る取組についての学習を行う予定でございます。講座ではSDGsの観点からのお話も盛り込み、実施をする予定でございます。

次に、事業計画8番の「多文化共生『異文化コミュニケーション講座』」でございますが、ベトナムに視点を当て、ベトナムのお国柄や民族性についてのお話とベトナム料理の調理実習を予定しております。

次に、事業計画10番の「日本刀入門講座」でございますが、刀研師の方を講師に招き、実施いたします。松村さんという方でございますが、先日TBS系列の「マツコの知らない世界」でも取り上げられ出演された方で、古和釜在住の方となっております。刀研は美術館に

行けば鑑賞をいくらでもできますけれども、この講座の特徴といたしましては、当日講師が日本刀を5振りほど持参していただきまして、実際に時代別の特徴を備えた日本刀を手に持って鑑賞することができます。貴重な体験ができる講座となっております。

続きまして、事業計画13番ですが、リカレント教育の観点も含めまして「有償ボランティア入門講座」を実施します。定年を迎えたり、子育てが一段落した方を対象に、人に喜ばれてちょっと小遣いをかせげる有償ボランティアにつきまして、福祉関係に視点を当てて紹介をする予定でございます。実は去年、松が丘公民館で実施したものでございまして、好評だったことから、坪井でも実施をする予定としたものでございます。

次に、事業計画20番の「親子で一緒に体験講座」を実施いたします。親子での体験を通じて絆づくりの一助といたします。具体的な内容は現在検討中でございます。重点目標5に対応した事業でございます。

次に、児童ホームと共催で事業計画23番の「ハロウィンお楽しみ会」を実施します。内容はゲームや工作、間違い探しなどがございますけれども、今年度、児童ホームが独自に実施したもので大層な盛り上がりを見せておりまして、来年度は一緒にやろうとなったものでございます。

坪井公民館からは以上となります。

○朝隈委員長

ありがとうございます。

それでは、議事(2)につきまして、ご意見、ご質問等ございますか。公民館名を挙げて質問いただきたいと思っております。

ないようであれば、議事(2)につきまして承認するものとしてよろしいでしょうか。

(「異議なし」の声あり)

○朝隈委員長

では、異議ありませんので、議事(2)令和6年度各公民館「地域の状況、地域の課題、重点目標案」(案)につきまして、承認いたします。

議事(3)令和6年度各公民館事業計画(案)についても各公民館長からご説明いただきましたが、こちらについても何かご質問はございますか。

ないようでしたら、議事(3)につきましても承認するものとしてよろしいでしょうか。

(「異議なし」の声あり)

○朝隈委員長

異議ありませんので、議事(3)令和6年度各公民館事業計画(案)につきまして、承認いたします。

それでは、議事(4)に移る前に、50分まで休憩にします。

(休憩)

＜議事３＞ 非公開の審議であるため、船橋市附属機関の会議の公開実施要綱第８条第３項の規定に基づき、記載を省略します。

ほかに本日の会議全体を通して、何かご意見ございますでしょうか。

なければ、以上をもちまして、令和５年度第５回北部公民館運営審議会を閉会いたします。
ありがとうございました。

午後５時１０分 閉会